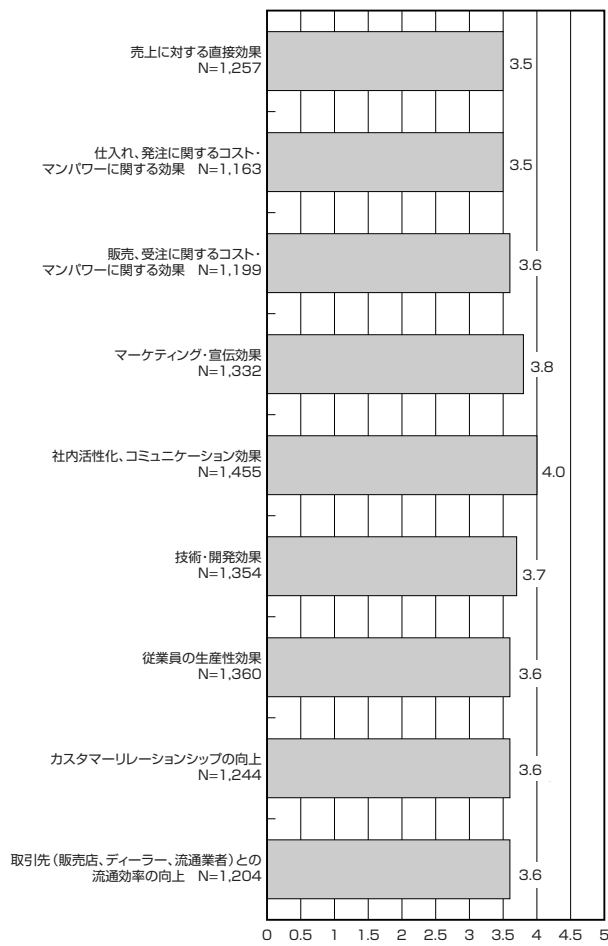
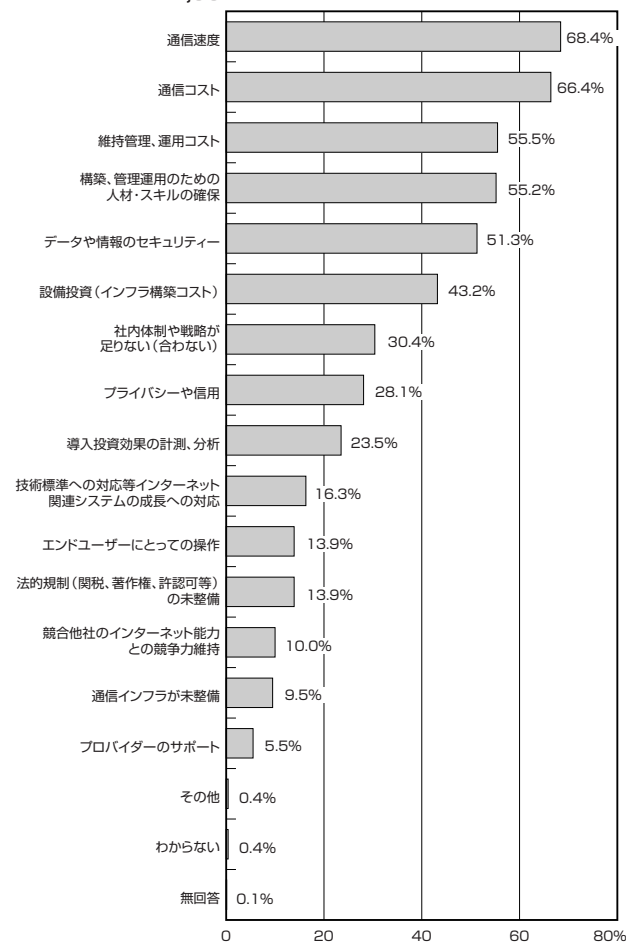


資料 1-4-62 インターネットの導入効果について項目別平均点 (5点満点)



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

資料 1-4-63 インターネット、イントラネットに関する今後の課題 (N=1,662)



インターネット白書2001 ©インプレス, Access Media International,2001

解説

増加に積極的な姿勢がうかがえる。

■導入効果と課題

昨年に引き続き、インターネットを導入したことによって企業がどのような点に効果があったと感じているかを5点満点で評価してもらったのが資料1-4-62である。それぞれの項目における回答率は「該当なし」を除外しているために異なっている。最も平均得点が高かったのは、昨年同様「社内活性化、コミュニケーション効果」の4.0であった。次いで「マーケティング・宣伝効果」(3.8)、「技術・開発効果」(3.7)が上位となっている。いずれも直接利益

の見込める分野ではないが、先にみた「インターネットの利用で期待する効果」(資料1-4-19 P.96)と対比してみれば、ほぼ順位が合っており、その目的がほぼ達成されていることがわかる。もともと直接利益やコスト削減を期待しているわけではないため、企業のインターネット利用目的はほぼ達成され、それなりにインターネットが社内外のコミュニケーションやリレーションシップに貢献しているという評価を得ているといえる。インターネット、イントラネットに関する今後の課題については、一昨年6位、昨年2位だった

「通信速度」が1位となった。実際には高速化が進んでいるにもかかわらず、相変わらず関心が高い。昨年伸びた「データや情報のセキュリティ」は今年やや後退し、代わりに「構築、管理運用のための人材・スキルの確保」が43.8%から55.2%へと浮上している。これらの課題は今後企業でのインターネット利用が進むにつれて、ますます具体的な対応が必要とされる。

(矢野さよみ アクセスメディアインターナショナル株式会社)



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)